

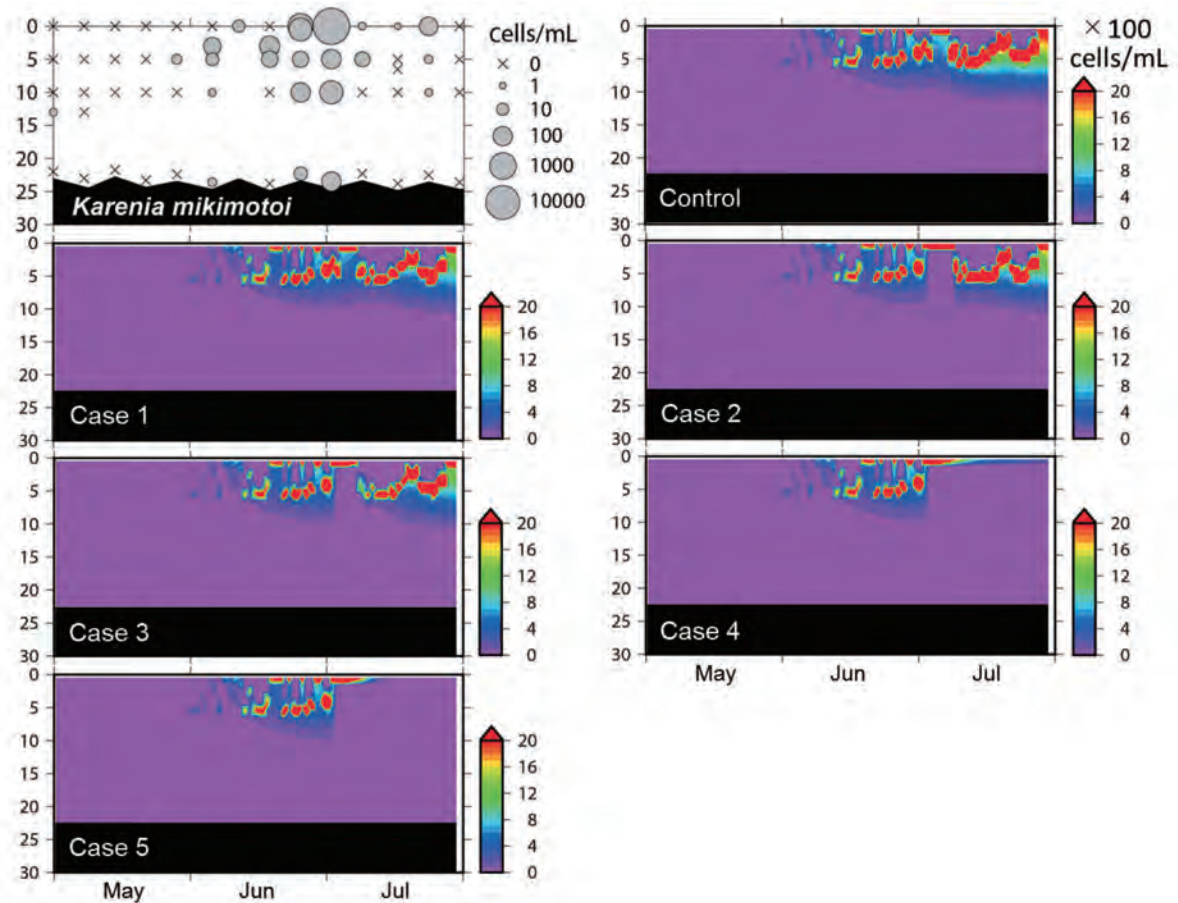


図 24 宇和島湾の重点調査点 U6 における 2018 年 5～7 月の *K. mikimotoi* 細胞密度の鉛直分布推移と生物モデル計算結果，計算結果は各日 12 時の *K. mikimotoi* 細胞密度を可視化している

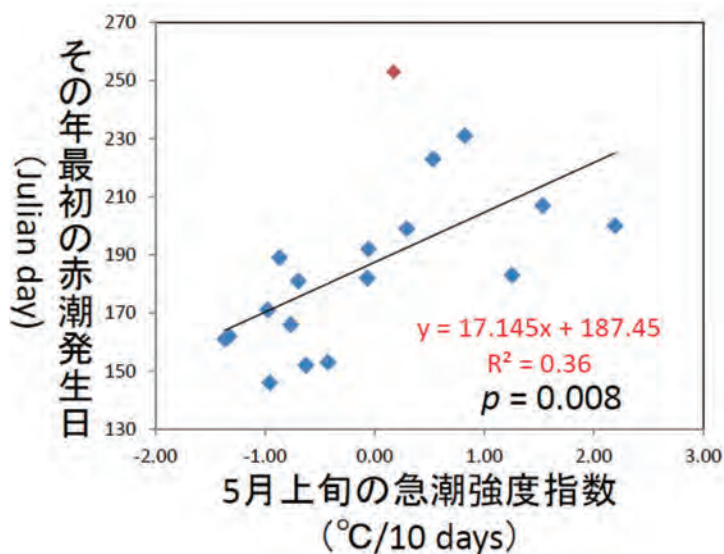


図 25 宇和海中央部に位置する塩子島における 5 月上旬の急潮強度指数と宇和海にてその年最初に発生した *K. mikimotoi* 赤潮発生日との散布図（図中の赤点：5～7 月に黒潮が離岸し外洋水進入がほとんど発生せず発生日が大幅に遅れた 2020 年度のデータ）

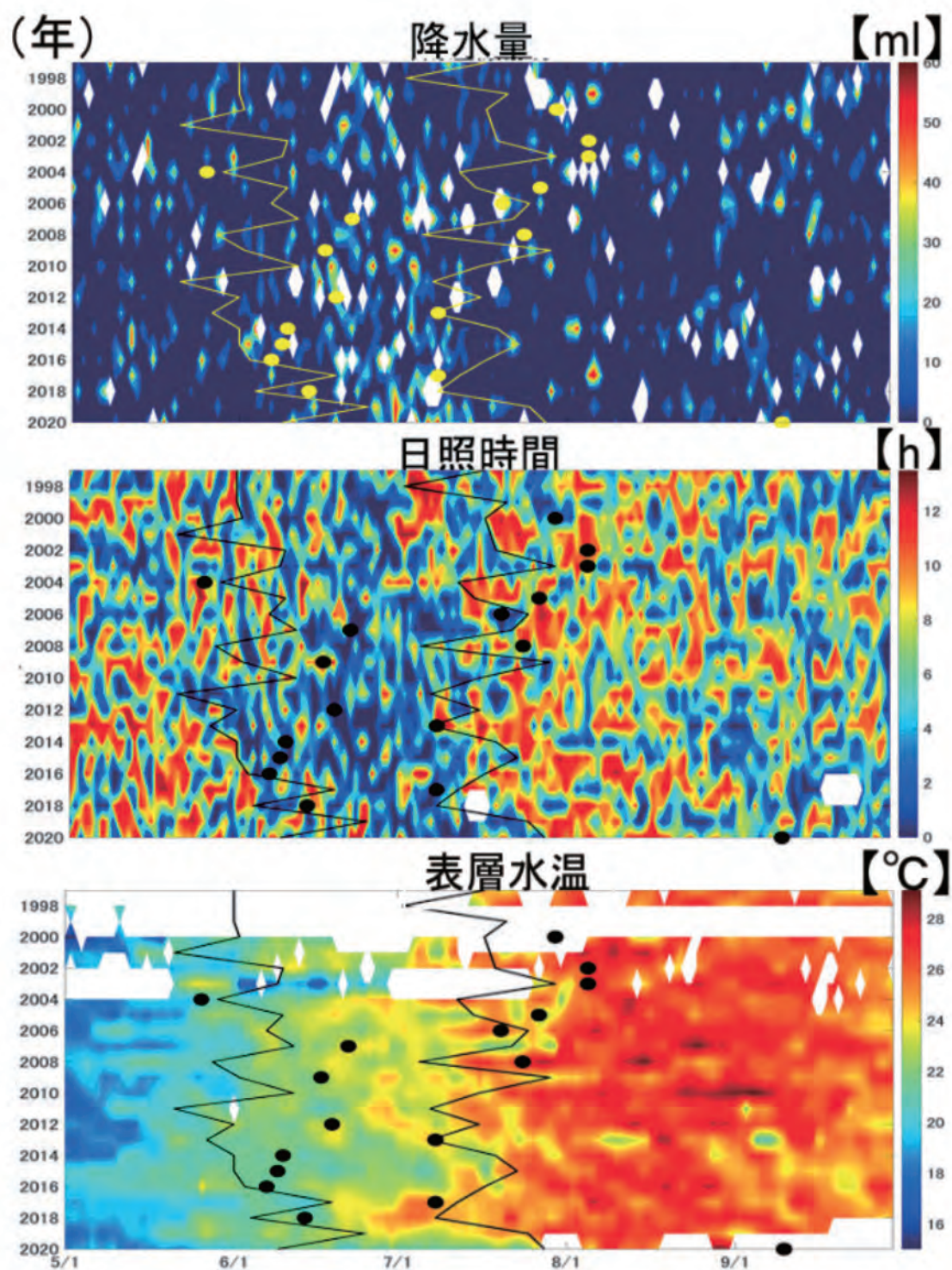


図 26 宇和島における降水量，日照時間，宇和海中央部における表層水温（カラーコンタ），宇和島における梅雨入り/梅雨明けの時期（縦線），年最初の *K. mikimotoi* 赤潮発生日（点）の経年（縦軸）および時間変化（横軸）

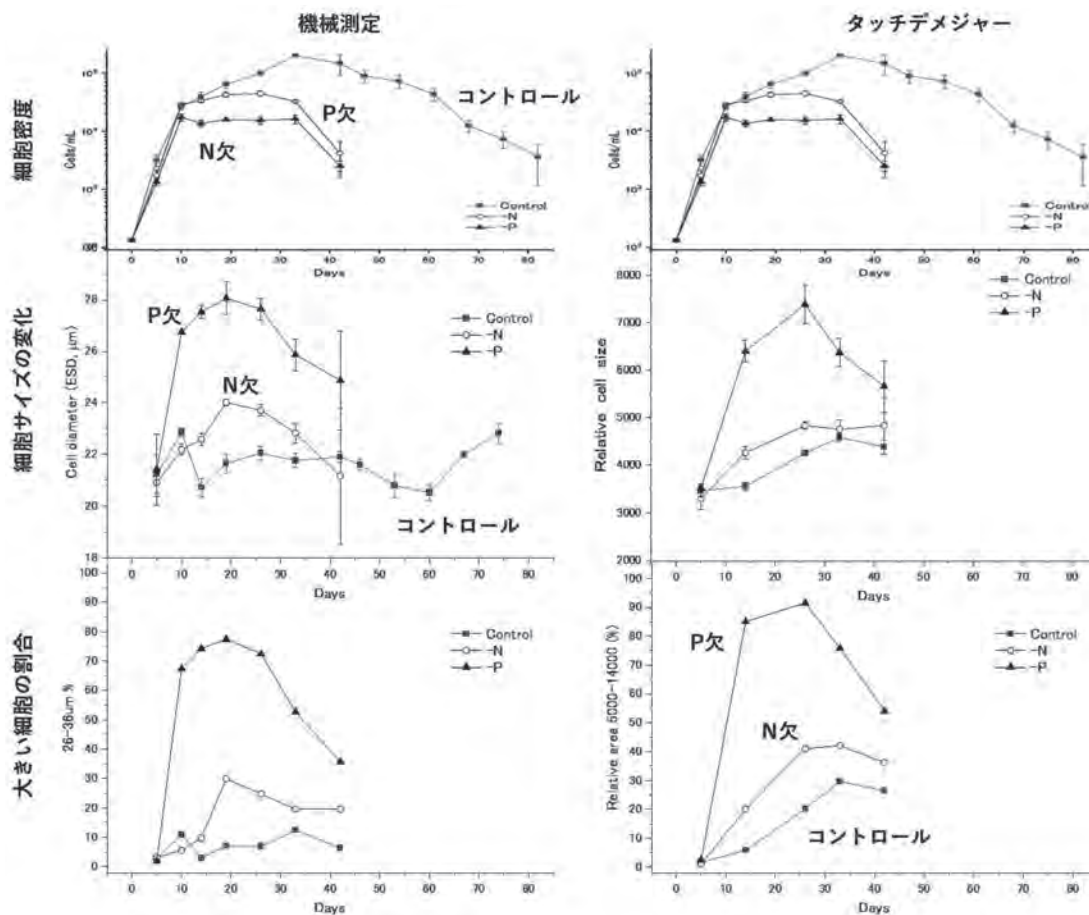


図 27 *K. mikimotoi* の各種培養条件下における細胞サイズの推移，左カラム) 自動細胞測定器 Tali イメージベースサイトメーター，右カラム) 画像解析ソフト Touch De Measure

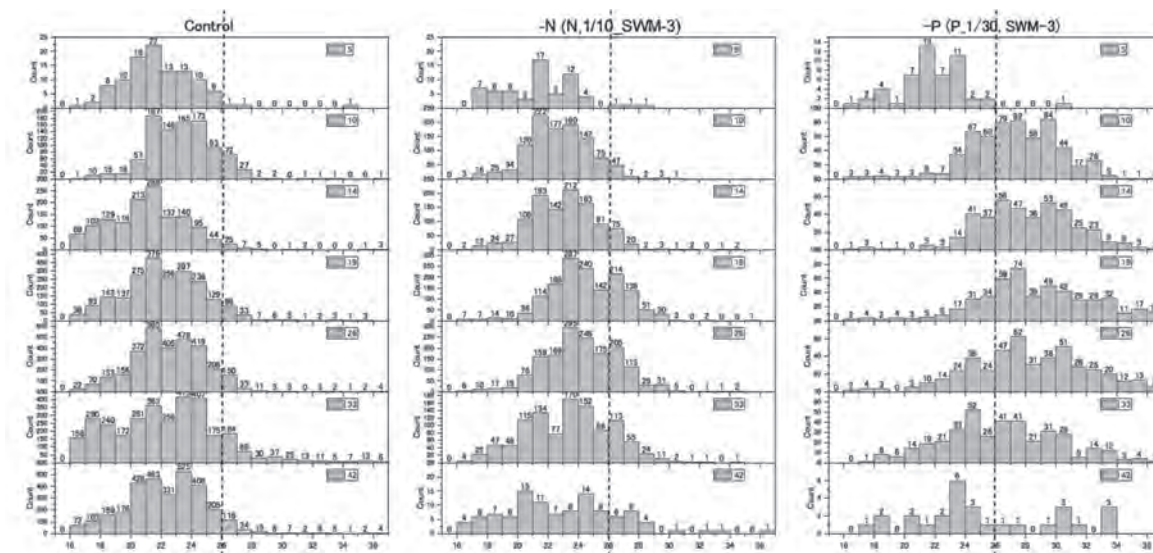


図 28 *K. mikimotoi* の各種培養条件下における細胞サイズ分布の推移，自動細胞測定器 Tali イメージベースサイトメーターによるデータ．横軸：細胞直径，縦軸：頻度．上段から 5, 10, 14, 19, 28, 33, 42 日目

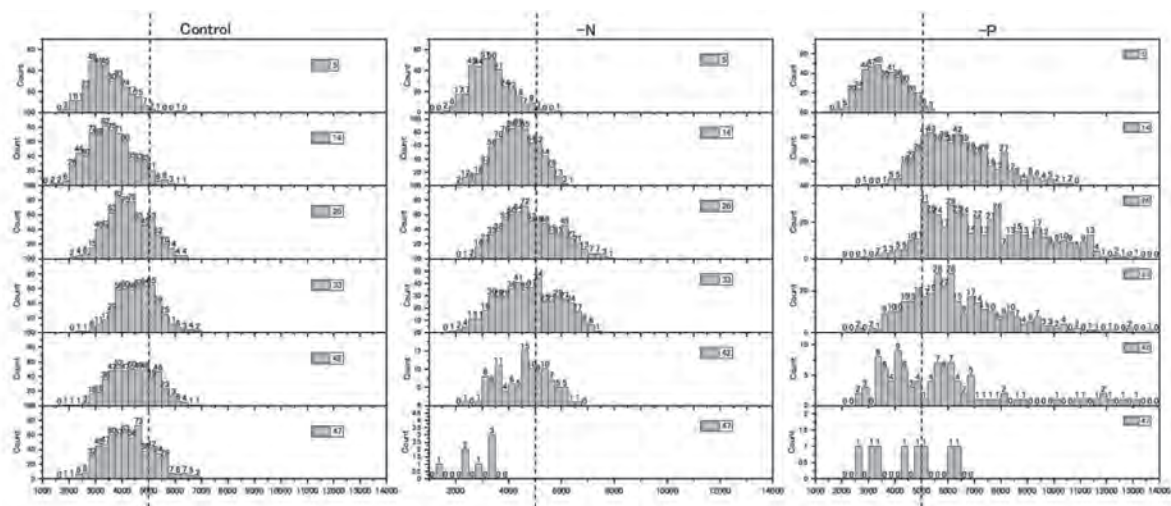


図 29 *K. mikimotoi* の各種培養条件下における細胞サイズ分布の推移，画像解析ソフト Touch De Measure によるデータ．横軸：細胞サイズユニット，縦軸：頻度．上段から 5，14，28，33，47 日目

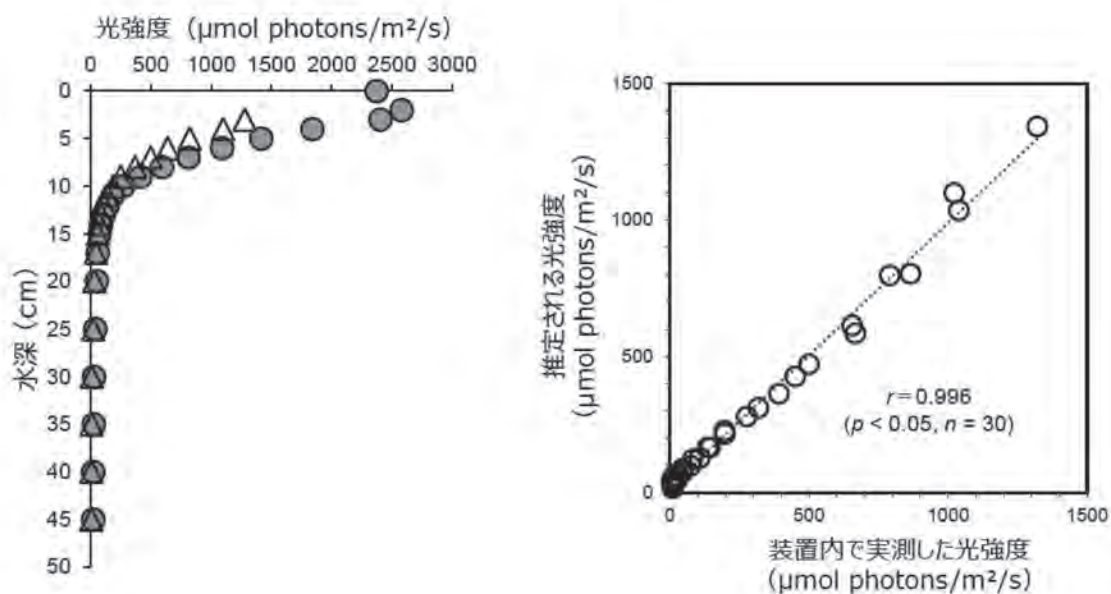


図 30 強光照射システムを実装した培養装置における光の鉛直推移（左，丸印に対して三角は昨年度のものを示す）ならびに光強度の実測値と推定値との関係（右）

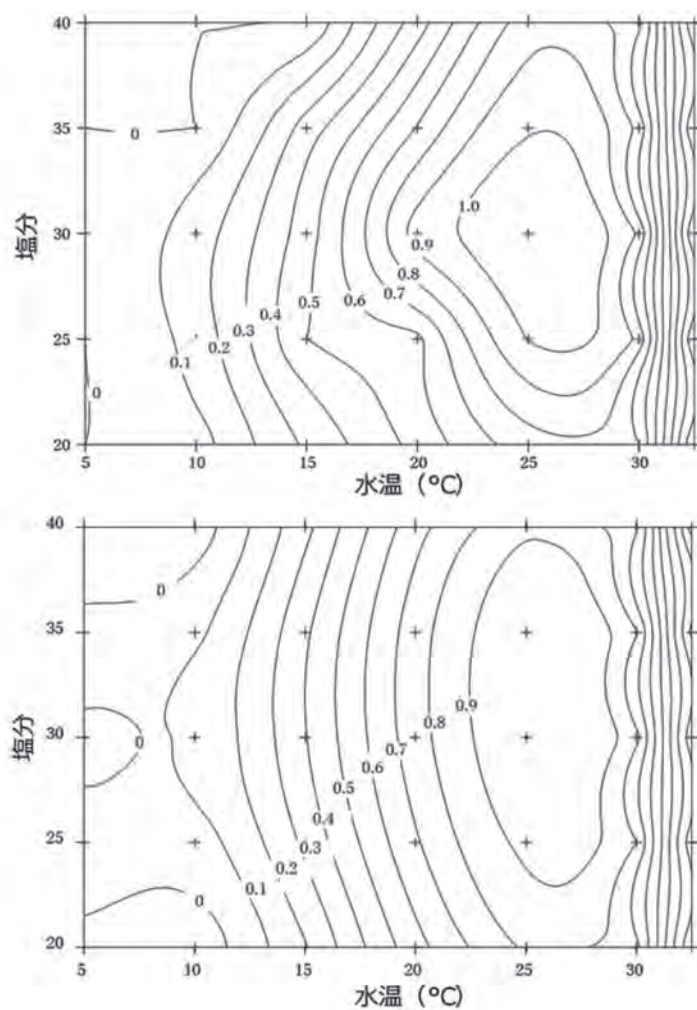


図 31 各水温・塩分における *Karenia mikimotoi* 供試株の増殖速度（上）と回帰値（下）

表 10 *K. mikimotoi* 赤潮の発生が確認された年を対象として、*K. mikimotoi* 赤潮初認日以前に *Prorocentrum* spp. および *H. akashiwo* が赤潮を形成していた割合（％），n は各海域において解析対象期間中に *K. mikimotoi* が赤潮となった回数を示す

	<i>Prorocentrum</i> spp.	<i>H. akashiwo</i>
広島湾 (<i>Prorocentrum</i> spp. n=15) (<i>H. akashiwo</i> n=21)	73.3	42.9
山口県周防灘 (n=19)	42.1	84.2
福岡県周防灘 (n=12)	25.0	66.7
大分県周防灘 (n=11)	0.0	54.5
大分県佐伯湾 (n=16)	18.8	25.0
愛媛県岩松湾 (n=15)	86.7	40.0
高知県宿毛湾 (n=3)	33.3	0.0
高知県浦ノ内湾 (n=19)	5.3	73.7

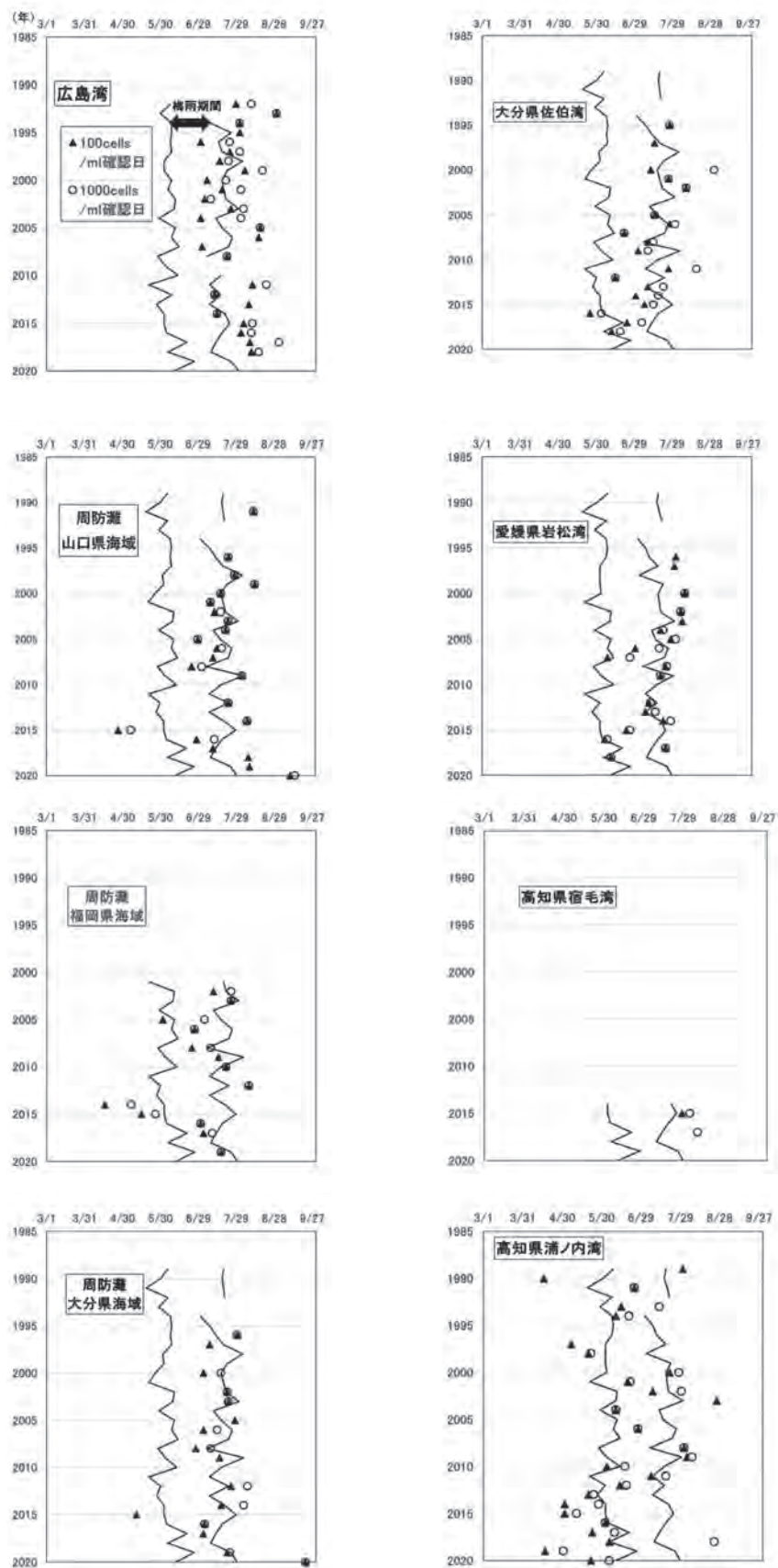


図 32 梅雨と *K. mikimotoi* 赤潮初認日との関連